



令和5年11月16日(木)発行

学校だより No.8

沼田市立沼田西中学校

【学校教育目標】「高い知性、温かい心、たくましい体をもつ生徒の育成」

- 《目指す生徒像》
- 向学 ……自ら学ぶ生徒
 - 礼節 ……思いやりのある生徒
 - 進取 ……挑戦する生徒

《目指す学校像》…生徒が心から「通いたい」と思える開かれた学校

《目指す教師像》…熱意、誠意、愛情のあふれる教師

【本年度の重点目標】 主体性と支え合いの向上

～やる気・勇気・根気のワンポイントアップ～

第1回学校評価アンケート結果

ご協力いただきました第1回学校評価アンケートの結果がまとまりましたのでお知らせいたします。各項目の結果を踏まえ、**主体性と支え合いのさらなる向上**を目指し、職員一丸となって改善策に取り組んでまいりますので、今後も本校の教育活動へのご理解とご支援をよろしくお願いいたします。公表が遅れ、大変申し訳ありませんでした。

A:「はい」「どちらかといえばはい」が80%以上、Bは60%以上、Cは60%未満(◎は90%以上がAとなっています。)

具体的数値項目と改善策 (今回の自己評価がBの具体的数値項目については【改善策】が太字になっています。)	第1回 自己評価
①「学校が重点的に取り組んでいることや子供の学校での様子が分かる」と保護者の80%以上が答えている。 【改善策】 ○現在の取組を継続し、更に充実させる。	A
②学校行事やPTA諸活動に保護者の80%以上が年2回以上参加している。 【改善策】 ○現在の取組を継続し、更に充実させる。	A
③「授業が分かる」と生徒の80%以上が答えている。 【改善策】 ○現在の取組を継続し、更に充実させる。	A
④生徒の80%以上が授業に満足感をもっている。 【改善策】 ○現在の取組を継続し、更に充実させる。	A
⑤生徒の80%以上が毎日家庭学習を行っている。 【改善策】 ○内容や提出の仕方などについて、各教科の担当や学年で工夫し、家庭で取り組みやすい課題を出すようにする。 ○課題提出が行えるように個別に声かけをしていく。	B
⑥生徒の80%以上が朝読書に進んで取り組んでいる。 【改善策】 ○現在の取組を継続し、更に充実させる。	A
⑦「相手の立場や気持ちを考えた思いやりのある言動を心がけている」と生徒の80%以上が答えている。	A
⑧「学校は悩みやいじめの解消に努めている」と生徒の80%以上が答えている。	B
⑨「いじめはしない、させない、許さない」と生徒の90%以上が答えている。 【改善策】 ○継続して生活記録や生活調査などを活用し、生徒の日常観察を充実していく。また、気になる点がある場合には、迅速に学年を軸に対応し、全職員に情報共有していく。 ○生徒自身が「いじめを許さない」という態度や考えをもてるよう、生徒会によるいじめ防止活動を推進していく。 ○各クラスのいじめ防止スローガンについて学級活動や道徳などの折に触れ、生徒への意識付けを行っていく。 ○OSOSの出し方教育や人権週間などを通じて生徒への啓発を行っていく。	A

⑩生徒の80%以上が、挨拶・返事等適切な言動ができる。 【改善策】 ○気持ちの良いあいさつについて、日常的に生徒に指導していく。 ○教室に「学習のきまり」を掲示し、授業中の挨拶、返事、発表の仕方などの指導の充実を図る。 ○朝の会や帰りの会、下校時などに服装や髪型についてチェックをし職員が同一歩調で指導する。	A
⑪部活動を通して、心身の望ましい成長や人間関係づくりに効果がもたらされていると 生徒や保護者の80%以上が答えている。 【改善策】 ○部活動の意義を踏まえた指導を継続し、所属している部活の中で一人一人の生徒の活動や活躍を認め、自己有用感や達成感を感じられるように指導していく。	A
⑫生徒の80%以上が家で手伝いをしている。 【改善策】 ○長期休暇の事前指導やお便りで、家庭における役割分担の大切さについて指導する。 ○道徳の授業で、福祉や奉仕、家族愛について扱うことで、自分ができることについて考え実践する意欲をもつことができるように支援する。	B
⑬生徒の80%以上が、ボランティア活動や福祉活動等に積極的に参加したり、学校生活 の中で困っている人を助けたりして、人の役に立っていると感じている。 【改善策】 ○現在の取組を継続し、更に充実させる。	A
⑭生徒の80%以上が清掃活動に真面目に取り組んでいる。 【改善策】 ○現在の取組を継続し、更に充実させる。	A
⑮生徒の90%以上が朝食をとっている。 【改善策】 ○引き続き、食に関する指導の推進をしていく。家庭科の授業や給食委員会等を通して、意識を高め ていく。	A
⑯生徒の80%以上が進んで体力づくりに取り組んでいる。 【改善策】 ○体力向上プランを基に、引き続き教科や部活動、体育的行事に参加させるとともに体力づくりを推 進する。	A
⑰生徒の80%以上がメディアセーブウィークで自分の目標を達成している。 【改善策】 ○引き続き、保健委員会でテスト前に呼びかけ知識を広め、学習計画表に記録することで 習慣化を図る。	A
⑱生徒の80%以上が1日6～9時間の睡眠時間をとっている。 【改善策】 ○家庭と連携し、睡眠の大切さについて指導をしていく。必要に応じ個別指導を実施していく。	A
⑲学校は、施設・設備の安全や生徒の危機意識や自己防衛能力の育成に努めていると、保 護者や生徒の80%以上が答えている。 【改善策】 ○現在の取組を継続し、更に充実させる。	A
⑳学校は、通学路の危険箇所の確認や生徒の交通事故防止、不審者への対策等に努めてい ると、保護者や生徒の80%以上が答えている。 【改善策】 ○生徒による通学路点検や避難訓練の様子を家庭に分かりやすく伝えていく。 ○家庭からの通学路の危険箇所の情報を市へ確実につなげる。	B
㉑学級活動における進路学習や総合的な学習の時間の体験活動等を通して、生徒の80% 以上が自己の生き方について考えている。 【改善策】 ○現在の取組を継続し、更に充実させる。	A
㉒将来の進路などについて生徒の80%以上が、親子で話し合う機会をもっていると答え ている。 【改善策】 ○親子で進路が話し合えるような機会が持てる資料の提供を行う。 ○1年職業講話学習（事前事後を含む）・2年職場体験学習（事前事後を含む）の改善を図る。	B